

あいめーる

令和6年8月30日発行 〒861-0551
 発行 熊本県山鹿市津留2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 <http://aileans.com>
 編集 広報チーム E-mail
 キャリービジョン ailinkan@magma.jp

SUMMER

愛隣館通信



ぴあハウス地域連携推進会議

ぴあハウス管理人 石貫 栄嗣

グループホーム利用者と地域の関係づくり、サービスの透明化・質の向上を目的に五月二十日、地域連携推進会議を開催しました。

地域連携推進会議構成員として、ぴあハウス利用者の代表吉本やす代さん、民生委員、ぴあハウス昭和町の大家さん、障害者支援施設ゆめの里より副施設長・事務長、山鹿市福祉課(障害福祉係)にご参画いただきました。

館長より地域連携推進会議についての説明、構成員の紹介がありました。ぴあハウス・ぴあハウス昭和町の現状報告・活動等の報告。構成員との意見交換。その後、利用者が生活されている空間や居室の見学を行いました。

意見交換では、三岳地区民生委員様より「着任する以前から興味はありましたが、見学するきっかけがなく、今日は皆さんの暮らしの様子を知ることができ良い機会となりました」。福祉課より「グループホームのことは書面上で確認する程度でした。実際の生活ぶりを見ることができ大変勉強になりました」。

昭和町の大家さんより「利用者や世話人の方々が家族のようにあいさつして下さるのが嬉しいですね。将来的にはマンションのフロア全体を、誰もが安心して暮らせる空間にできたらと思っています」との感想が聞かれました。

グループホームも地域の一つの住居として隣同士関わり合い、利用者一人ひとりが津留、昭和町の住民として地域に溶け込み交流ができるよう、より良いサービス提供に努めて参ります。





館長 三浦 貴子

夏号

八月十六日、今年の上がり燈籠奉納女性団体の山鹿燈心会は、日本最南端の「宮古神社」を奉納しました。数年前より、宮古島市と山鹿市は友好都市として交流が始まっています。

そこで、伝統工芸宮づくり燈籠の宮古神社に魂を込められたらと、私たちは会の女性全員でエイサーを踊る成り行きとなりました。

指導者は、館で踊りがうまい相談支援専門員の守田直人さん。各自YouTubeで自主練習を重ね、全体練習は一回半。

高校生から、その三倍強生きてきた大半の会員、車イス利用の坂田さんなど、皆でそれなりに精一杯出発のさくら湯前と大宮神社下で踊り一体となりました。掛け声はバッチリ揃い、太鼓は一度もピタとは合わず、踊りは自分に必死で見えておりません。

全体練習の時、仕上がり状態が良いのは、ミヤンマーのティンさん・ウィンさんとわかり、当館のスタッフ五名は二人の後ろに付くと決めました。本番の二日前に熊日新聞で紹介されてからはメンバーの顔色も変わり、朝・夕こっそり練習しました。

私は昔からエイサーが好きですが、昨年ケガをしたので、どこまで踊れるかのチャレンジでした。側

から見るとおかしな事を一生懸命やるのが「まちづくり」と教えられた事を思い出します。

祭りが終わり、普段は「よへほ節」が頭の中を流れるのですが、今年は「ダイナミック琉球」が回ったままで、筋肉痛が残りました。改めて支えて下さった皆さん、本当にありがとうございました。

施設親善対抗

風船バレーボール大会

看護師 岩木 大志郎

五月十六日(木)芦北町総合センターで、施設親善風船バレーボール大会が五年ぶりに開催されました。

入居者からは前田さん、手島さん、日永さん、職員は鈴木、本田智、一村、岩木が参加しました。午前中に二試合あり二勝一敗。残念ながら決勝には行けませんでした。

午後から一試合あり引き分けでしたが、じゃんけんで負けてしまいました。

コロナ感染も落ち着き、久しぶりの交流会ということもあり、参加された皆さんは笑顔の連続。大きな掛



け声と笑い声が体育館中に響き、楽しまれていた事がとても印象的でした。

コロナウィルスやインフルエンザと常に向かい合い普段の生活の中でもまだまだ注意が必要です。少しでも多くの交流会が開催され、皆さんの楽しんでいる姿をまた見たいと思いました。

第二十三回くまもと

障がい者ポーツ大会

愛隣倶楽部 金森 大輔

五月十九日(日)晴れ晴れとした天候の中、熊本県総合運動公園(えがお健康スタジアム)を会場に、くまもと障がい者スポーツ大会が開催されました。走競技及び投てき競技に愛隣館入居者九名、デイケア利用者二名、愛隣倶楽部利用者三名の方が出場され、日ごろの練習の成果を存分に発揮されました。その中で愛隣倶楽部の小崎あゆみさんがスラローム競技で、これまでの記録を六秒近く縮められて一分十七秒四の大会記録を樹立されました。今回、全国大会の切符は叶いませんでしたが、本人は来年も



チャレンジする意気込みでいます。

尚、デイケア利用の下川龍次さんが、ジャベリックスローに出場。好成績を出され、十月二十六日(土)〜二十八日(月)に開催される、全国障害者スポーツ大会・佐賀大会のキップを手にされました。

子ども陶芸粘土体験

児童発達支援管理責任者

新居 礼美

七月十三日に総勢三十八名で「子ども陶芸粘土体験」を行いました。

「どんなができるかな」と楽しみにしている子どもいれば「できるかな」とちよっぴり不安そうなお子もいました。

実際に粘土に触れると、手で感触を楽しみながら「冷たい」「知っている粘土とは違う」等、様々な声が聞こえていました。形が整ってくると「見てみて」と嬉しそうな笑顔と共に作品を見せてくれ、保護者の方々も子どもさんに寄り添い、いっしょに取り組んで頂き、その中で子どもの意思や選択を「いいね」「やってみよう」で肯定的にサポートされている関りがたくさんありました。



ひとつひとつは小さな経験ではありますが、それを積み重ねることができ、子どもさんにとっても保護者の方にとっても豊かな歩みに繋がった日になったと感じました。今後も、地域の中で大人と子どもがいっしょに経験できる機会を持てたらと思います。

ぴあハウス「春の地域交流会」

五月二十日(月)、開設十七周年ぴあハウス春の地域交流会を開催しました。

山鹿市消防副団長をはじめ、法人役員、利用者ご家族、合わせて四十名に参加いただきました。山下四季子さんより「楽しく過ごしましょう」と挨拶があり、松浦清朗さんの乾杯の音頭で和やかに会食がスタート。歓談が行われました。コロナ禍で自粛していたカラオケを五年振りに再開。自慢の喉を披露され大いに盛り上がりました。

最後に、恒例のカーネーションの贈呈を行い、それぞれに感謝の想いを伝え手渡されました。思いがけないプレゼントに目頭を熱くされるお母様



もいらっしやいました。皆さん、笑顔の花が咲き乱れ、楽しい時間を過ごされました。

技能実習生紹介

八月一日よりミャンマーから、特定技能介護職を受け入れました。

- ① 大切にしていること
- ② 抱負



ティンニラウィンさん

- ① 笑顔と尊敬することを持って、人々に接すること
- ② 介護についてもっと勉強して、利用者さんが元気になるようにサポートしたい



ウィンティンギーウーさん

- ① 自分の生活を楽しく過ごすこと
- ② 介護福祉士になることで、お年寄りや障害者の方々が、豊かな生活を送れるようサポートしたい

ヒューマンライツ委員会

今年度より、ヒューマンライツ委員会では、委員会メンバーのみではなく、パート職員の方も含めた全体スタッフ向けの研修を執り行うようになりま



二位グループ戦

(右) 入居チーム対地域チーム対決

六月二十七日(木)、芦北町民総合センターしるやまスカイドーム横交流会館にて、利用者親善オセロゲーム大会が開催され、各部署での厳しい予選を勝ち抜いた入居チーム三名と地域チーム四名の方が愛隣館代表として参加されました。
三人一組でひと試合の制限時間は十五分。シーンと静まり返った会場に緊張の面持ちで試合に臨まれ、隣に座っているスタッフもドキドキが伝わりまです。一手一手丁寧に、そして自信を持って駒を打つ

ディケアサブチーフ

坂本 美由紀

利用者親善オセロゲーム大会

した。利用者の方を権利の主体として尊重する意識づくりを、より愛隣館に定着させていく意図があります。お互いの権利を知り、それぞれの意思決定を尊重することについてなど、根幹となる部分についてはこれからも繰り返ししながら、皆で学びを深めて参りたいと思います。

ている皆さんの姿に心の中で応援!!

結果は、入居チームが総合六位、地域チームが五位で、勝負の結果に悔しい思いをされた方もおられたと思いますが、帰りの車内は皆さん笑顔で来年に向けての目標を掲げられ、満足そうな表情が印象的でした。利用者、スタッフ全員無事に元気に参加出来たことを嬉しく思います。
運営の石路の里さんに御礼申し上げます。

千人灯笼見物

山鹿市では、毎年八月十五日〜十六日にかけて、山鹿灯笼祭りが行われます。今年は、山鹿市より、十六日に行われる「千人灯笼踊り」の特別観覧車椅子席への招待があり、四名の方が観覧できました。頭に金灯笼を



乗せた浴衣姿の人の波、ゆったりとした時間が流れ幻想的な灯りに魅了された時間を過ごしました。
「お陰様で癒されたひとときでした」ライトアップの加減で灯笼の表情が変化しておもしろかったなどと、利用者、家族の方からの声が聴けました。(和)

Hug(ハグ)購入



写真は、移乗中の中本さん

令和五年度熊本県障がい福祉分野のロボット等導入支援事業補助金(123万円)の交付を受け、移乗サポートロボットHugを二台購入しました。ありがとうございました。

利用者の日常風景の1コマ



栗山浩さん

頭の体操で、日課の足し算・引き算をやっています。



樋川やす代さん

大谷翔平の大ファンです。野球を観るのが楽しみです。

お知らせ

◆ 法人愛隣園ふれあい祭りを開催します。
期日：令和六年九月二十八日(土)

午後五時半より

場所：特別養護老人ホーム・愛隣の家広場
ご家族の皆様のご参加をお待ちしております。